

基調講演 鳥取で考えるこれからのまちづくり



にし むら ゆき お
西村 幸夫 神戸芸術工科大学教授・東京大学名誉教授

1952年生まれ。神戸芸術工科大学教授、東京大学名誉教授。東大卒、同大学院修了。明治大学助手、東京大学助教授を経て、1996年より2018年まで東京大学大学院工学系研究科教授。2018年4月より現職。専門は都市計画。工学博士。日本イコモス国内委員会委員長、国際遺跡記念物会議(ICOMOS)元副会長。近著に『県都物語』(有斐閣、2018年)、『西村幸夫 文化・観光論ノート』(鹿島出版会、2018年)、『まちを想う 西村幸夫講演・対談集』(鹿島出版会、2018年)など。

分科会

第1分科会 地域資源を活用する



つつ い かず のぶ
コーディネーター 筒井 一伸 鳥取大学地域学部教授

1974年、佐賀県生まれ、東京都育ち。博士(文学)。鳥根大学卒業、大阪市立大学大学院修了。愛知県豊根村地域間交流支援専門研究員などを経て現職。専門は農村地理学・地域経済論。都市・農山村交流の促進、移住・田園回帰の実態に基づく政策支援、「学校」を仕掛けにした地域づくり戦略などに関わる。国土交通省克雪体制支援懇談会委員などを歴任。主著に『田園回帰の過去・現在・未来』(農文協、2016年)、『移住者による継業』(筑波書房、2018年)など。

事例発表者

- **竹口 大紀** 鳥取県大山町長
- **大久保太一** 茨城県常陸太田市長
- **栗山 忠昭** 奈良県川上村長

第2分科会 地域課題を解決する



い さかい よし のり
コーディネーター 飯盛 義徳 慶應義塾大学総合政策学部教授、博士(経営学)

佐賀市生まれ。長崎県私立青雲高等学校卒業。上智大学卒業後、松下電器産業株式会社勤務。1992年 慶應義塾大学大学院経営管理研究科修士課程入学。1994年飯盛教材株式会社入社。2002年 慶應義塾大学大学院経営管理研究科博士課程入学。2005年 慶應義塾大学環境情報学部専任講師。2008年 同大学総合政策学部准教授、2014年 教授、2015年から2017年までSFC研究所所長。総務省、国土交通省、内閣府などの委員を務める。主著に『地域づくりのプラットフォーム』(学芸出版社)など多数。

事例発表者

- **白石 祐治** 鳥取県江府町長
- **牧野 百男** 福井県鯖江市市長
- **小嶋 崇嗣** 宮城県新富町長

第3分科会 田園回帰の潮流と受け入れ



ふじ やま こう
コーディネーター 藤山 浩 一般社団法人持続可能な地域社会総合研究所所長

1959年、鳥根県益田市生まれ。一橋大学経済学部卒業。博士(マネジメント)。(株)中国・地域づくりセンター、鳥根県中山間地域研究センター等を経て、2017年より現職。国土交通省国土政策局「住み続けられる国土専門委員会」委員他、国・県委員多数。専門は、中山間地域論、地域マネジメント、地域人口分析、地域計画、地域経済。著書に『田園回帰1%戦略』、『循環型経済をつくる』(農文協)など。

事例発表者

- **寺谷誠一郎** 鳥取県智頭町長
- **五味 武雄** 長野県原村長
- **武智 邦典** 愛媛県伊予市長

全体会総括 パネルディスカッション



つく の ひろ かず
コーディネーター 作野 広和 鳥根大学教育学部教授

1968年鳥根県松江市生まれ。広島大学大学院文学研究科修了、同大助手、鳥根大学准教授を経て、2014年より現職。専門は農業・農村地理学、過疎・中山間地域論、GIS。総務省過疎問題懇談会構成員、総務省地域運営組織の形成及び持続的な運営に関する研究会委員、農林水産省鳥獣害対策アドバイザー、鳥根県中山間地域研究センター客員研究員等。鳥根県江津市、邑南町、奥出雲町、飯南町に研究室の分室「ラボ」を設置し、住民との協働による地域づくり活動を展開中。

パネリスト

- **西村 幸夫** 神戸芸術工科大学教授・東京大学名誉教授
- **筒井 一伸** 鳥取大学地域学部教授
- **飯盛 義徳** 慶應義塾大学総合政策学部教授、博士(経営学)
- **藤山 浩** 一般社団法人持続可能な地域社会総合研究所 所長

ゲストスピーカーによるプレゼンテーション

最先端ベンチャーのノウハウの活用について



やま の ともし ひさ
山野 智久 一般社団法人熱意ある地方創生ベンチャー連合共同代表理事

アンビicycle株式会社代表取締役社長。アクティビティ、オプションルツアー、体験、レジャーチケットなど「遊び」の予約ができる日本最大級マーケットプレイス「asoview! (アソビュー)」他 WEBサービスを運営。また、地方創生分野においては、ICTを軸としたソリューションによって、地域事業の生産性の向上に貢献し、地方創生を実現することを目的とした、一般社団法人熱意ある地方創生ベンチャー連合を立上げ、共同代表理事に就任。自治体の観光アドバイザーを歴任するなど多方面で活動。

稼ぐ公的不動産活用で地方創生を実現する、一流企業の知恵

パブリック・アライアンス発起人

野尻 佳孝



1972年東京生まれ。明治大学政経学部卒業。1998年、結婚式関連事業などを行う株式会社テイクアンドギヴ・ニーズを起業。2010年同社代表取締役会長に就任。2017年株式会社TRUNKを設立、代表取締役社長に就任。2018年4月より明治大学経営学部教授。

木下 斉



1982年東京生まれ。2005年早稲田大学政治経済学部政治学科卒業の後、一橋大学大学院商学研究科修士課程へ進学。2009年、全国のまち会社による事業連携・政策立案組織である一般社団法人エリア・イノベーション・アライアンスを設立、代表理事就任。

馬場 正尊



1968年佐賀県生まれ。1994年早稲田大学大学院建築学科修了。2003年株式会社オープン・エーを設立。建築設計、都市計画、執筆などを行う。2008年より東北芸術工科大学准教授、2016年より同大学教授。

N

写真提供：鳥取県

地域の元気創造

全国市町村長サミット 2018 in 鳥取

日程／ **2018.10.11(木) ▶ 10.12(金)**

会場／米子コンベンションセンター 〒683-0043 鳥取県米子市末広町294

鳥取県マスコットキャラクター「トリピー」

参加市町村長募集

主催：総務省・鳥取県 お問い合わせ：総務省 地域振興室 ☎03-5253-5533

地域の 元気創造

全国市町村長サミット 2018 in 鳥取

人口減少の到来、地域間格差の拡大、コミュニティの脆弱化など難しい課題に直面している中であって、日本経済の再生に向けて、地域の活性化を図っていくことが求められています。このため、全国の市町村長等が一堂に会して議論・交流を行うことを通じて、地域活性化の一層の進展・普及を図ることを目的に、全国市町村長サミット2018in鳥取を開催いたします。開催にあたり、全国の市町村長の方、自治体職員や市民の方々等の一般参加者を募集いたします。

10月11日(木)

13:00	全体会	総務省挨拶 / 開催地挨拶
13:20~14:10	基調講演	鳥取で考えるこれからのまちづくり 西村 幸夫 神戸芸術工科大学教授・東京大学名誉教授
14:25~15:55	分科会	3つのテーマの分科会に分かれ、各分科会のコーディネーターと発表される市町村長の方々に取組事例の発表と意見交換を行っていただきます。
	第1分科会	地域資源を活用する コーディネーター 筒井 一伸 鳥取大学地域学部教授
	第2分科会	地域課題を解決する コーディネーター 飯盛 義徳 慶應義塾大学総合政策学部教授、博士(経営学)
	第3分科会	田園回帰の潮流と受け入れ コーディネーター 藤山 浩 一般社団法人 持続可能な地域社会総合研究所所長
16:10~16:50	ゲストスピーカーによる プレゼンテーション	最先端ベンチャーのノウハウの活用について 一般社団法人熱意ある地方創生ベンチャー連合共同代表理事 山野 智久
		稼ぐ公的不動産活用で地方創生を実現する、一流企業の知恵 パブリック・アライアンス発起人 野尻 佳孝、木下 斉、馬場 正尊
16:55~17:55	全体会総括	パネルディスカッション 各分科会での議論を踏まえて、総括コーディネーター、分科会コーディネーター、基調講演者で議論・検討を行います。 総括コーディネーター 作野 広和 鳥根大学教育学部教授
18:10~19:20	市町村長交流会	市町村長等による意見交換、情報交換の場として交流会を実施します。(参加費4,000円)

10月12日(金) 現地視察 ※②1日コースは昼食代として当日1,500円をいただきます。

視察の流れ (①半日コース／②1日コース)
8:55 米子駅前だんだん広場集合
9:00 出発
9:45~10:10 森のようちえん michikusa 視察
10:50~12:20 大山 視察 (大山寺、大神山神社奥宮)
※①半日コース終了 (13:00米子駅着／13:30米子空港着)
12:30~13:25 大山まきばみるくの里 昼食
14:10~14:40 えん処 米や 視察
15:00~15:20 支え愛の店 ながえ 視察
※②1日コース終了 (15:35米子駅着／16:05米子空港着)



①森のようちえん michikusa
森、里山等の自然環境を中心として野外での保育等を行う「森のようちえん」。michikusaは鳥取県西部の伯耆町を拠点に活動。畑作り・田植え・稲刈りなど各季節の活動、昔遊びや味噌作りといった昔ながらの体験を地域の方と一緒に楽しみ、大山の麓という贅沢な環境の中、季節の遊びや人との関わりを大切に自然保育を行っている。



③お試し住宅・地域交流拠点「えん処 米や」
移住促進のための「お試し住宅」と、地域の賑いの拠点となることを目的とし、地方創生交付金を活用して平成28年度に古民家を改修整備。まちづくりNPO法人なんぶ里山デザイン機構が主催する、地域の資源や人材による講座「里山デザイン大学」の開催等により、町内外の交流人口増加につながっている。



②大山寺・大神山神社
中国地方最高峰・大山は、古くから信仰の対象、地域にさまざまな恵みをもたらす山として、人々に「大山さんのおかげ」と感謝の念をささげられている。718年に金蓮上人により大山寺が創建されて、今年で開山1300年を迎えた。大山の魅力を多くの方に体験していただくため、様々なイベントを企画している。



④支え愛の店ながえ
永江地区は米子市郊外の大規模住宅団地として丘陵地に造成され、入居から約45年が経過。偏った年齢構成により急激な高齢化が進展し、コミュニティの弱体化が進展する中、団地内の小売店撤退を機に永江地区自治連合会として買い物支援拠点の運営を開始。地域住民主体での生活支援の取組や多世代交流を通じた人と人との繋げる地域の拠点として新たなコミュニティが生まれている。

参加ご希望の方は、下記URLよりお申込みをお願い致します。 <https://conv.toptour.co.jp/shop/evt/tottori-summit/>
また、FAXでのお申し込みも受け付けております。希望される分科会の番号(左記参照)、交流会・現地視察参加の有無と希望コース、手話通訳及び要約筆記の要不要を下記申込書に記入の上、お申し込みください。(申込多数の場合は、ご希望に添えない場合があります。)

■参加対象者 市町村長、自治体職員、地域づくり団体関係者の方々の他、市民の方々等の一般参加者を募集いたします。
■参加費 サミット：無料 / 市町村長交流会：4,000円

お申し込みの流れ

① 専用サイトよりお申し込み… URL <https://conv.toptour.co.jp/shop/evt/tottori-summit/>
参加申込書のFAX送信…… 送信先番号 FAX：03-5348-3799 申込窓口委託業者：東武トップツアーズ株式会社

② 参加証等の発送 参加分科会等の調整後、申込書記載の連絡先宛に参加証等を郵送します。

③ 参加費用の振り込み 市町村交流会に参加される方については、参加費用をご負担いただきます。インターネットにてお申込みの場合はマイページより、FAXにてお申込みの場合は上記②記載の口座へ振込みとなります。(振込費用はご負担願います。)

④ 当日来場受付 参加証をお持ちください。

参加申込書

申込締切日：平成30年9月7日(金)

*連絡担当者様もご参加される場合は、参加者①欄に「同上」とご記入のうえ、分科会等のご希望欄に記入をお願いいたします。
*参加証等の発送は、連絡先住所・連絡担当者様宛にお送りいたします。 *氏名・所属・役職は当日お渡しする名札に印字されます。

連絡先住所	〒 ー									
TEL				FAX				E-mail		
	氏名	所属	役職	分科会			交流会 参加	現地 視察	手話 通訳	要約 筆記
				第1希望	第2希望	第3希望				
連絡 担当者	ふりがな									
1	ふりがな									
2	ふりがな									
3	ふりがな									
4	ふりがな									
5	ふりがな									
記入 例	ふりがな 鳥取 太郎	鳥取県〇〇市	市長	③	①	②	○	①	×	○
サミットの当日、参加していただいた市町村用のPRスペースを検討しております。PRスペース希望の有無を右欄にご記入ください。 (2団体で机1本(1団体90cm)のスペースです。後ろにポスターボード(横90cm×縦180cm)もご用意致します。 PR希望 また、スペースの都合により、調整させていただく場合もありますので、ご了承ください。)										

申込等の個人情報については、本サミットに係る目的以外での利用はいたしません。

申込窓口 東武トップツアーズ株式会社 東京国際事業部 第2営業部 担当：長久保・斉藤(健)・高橋 理絵
〒160-0023 東京都新宿区西新宿7-5-25 西新宿プライムスクエア16階 TEL：03-5348-3500 FAX：03-5348-3799